

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 胆道ドレナージ術におけるアクセルルートについての検討_』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器内科 職位・氏名 講師・伊藤 謙

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科では、通常の経乳頭胆道ドレナージ(ERCP)が困難な症例に対する代替療法としての超音波内視鏡下胆道ドレナージ術(EUS-BD)、経皮経肝胆道ドレナージ(PTBD)、の治療成績を検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、外科的な胆道ドレナージ術が回避され、患者様の生活の質(QOL)の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2020年4月～2025年3月までに東邦大学医療センター大森病院

消化器内科において胆道ドレナージが行われる必要のある患者様(総胆管結石の内視鏡治療を受けた方、膵胆道疾患の胆管狭窄による黄疸改善のために内視鏡的な胆道ドレナージ術を受けた方)

方 法:カルテから抽出したデータの解析をします。

【研究に用いられる試料・情報】

胆道ドレナージに用いられた方法(ERCP/PTBD/EUS-BD)

ドレナージ後の黄疸の改善経過, 病歴, 診療の治療歴、偶発症等の発生状況、

個人情報 等

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

研究代表医師:伊藤 謙 役職:講師

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター_____病院 _____科

職位・氏名 _____

電話 _____ 内線 _____